

内閣総理大臣表彰



日本
サービス
大賞

NIHON
SERVICE
AWARD

第2回

あなたの優れたサービス、表彰します。

スケジュール

2017年5月10日(水)	応募フォーマット公開
2017年6月 1日(木)	応募受付開始
2017年8月31日(木)	応募締切 (15:00 まで)
2018年春	発表・表彰

<http://service-award.jp>

きらりと光るサービスが、 これからの日本を輝かせていく。



第1回日本サービス大賞表彰式にて
(安倍総理、JR九州 唐池会長)

日本サービス大賞について

日本経済はGDPと雇用の7割超をサービス産業が占め、

サービス化の流れは更に業界を超えて進んでいます。

本賞は、多岐にわたる業種の多種多様なサービスを共通の尺度で評価し、

優れたサービスを表彰する制度です。

第1回表彰のとおり、国内の全てのサービス提供事業者を対象に、

「優れたサービスをつくりとどけるしくみ」を有する“きらり”と光るサービスを幅広く表彰します。

本賞を通じて、サービス提供事業者のより一層の士気向上やイノベーションを促します。

モノづくり(製品)の付加価値を高めるような製造業によるサービスも含め、

より多くのご応募をお待ちしています。

賞の種類

内閣総理大臣賞 |1件|

最も優秀と評価されたサービスを表彰。

地方創生大臣賞 |数件程度|

地域の活性化の視点で大きく貢献した優秀なサービスを表彰。

総務大臣賞

厚生労働大臣賞

農林水産大臣賞

経済産業大臣賞

国土交通大臣賞 |各1件程度|

各省の所掌に基づき管轄となる大臣より、優秀なサービスを表彰。

優秀賞 |数件程度|

主催団体より、優れたサービスを表彰。

JETRO理事長賞 |1件程度|

グローバルな展開で著しく成功した、優秀なサービスを表彰。

審査員特別賞

審査委員会の判断により、特に際立った特徴のあるサービスを表彰。

※各賞においては該当なしの場合もあります。

表彰対象

「優れたサービスをつくりとどけるしくみ」

優れたサービスは、サービスを生み出し、日々、改善していく“しくみ”を持っています。
そんな“きらり”と光るサービスをつくりとどけるしくみを評価し、表彰します。

こんな“きらり”と光るサービスが対象です

たとえば ▶ 常識を覆すような、
いままで聞いたことも
見たこともないサービス



たとえば ▶ お客様と一緒に
双方向のコミュニケーションで
価値を共に創るサービス



たとえば ▶ 「そこまでやるか!」という、
細部までこだわりを
持っているサービス



たとえば ▶ これまでも、
これからも
長く愛され続けるサービス



たとえば ▶ 忘れられない感動や
喜びをもたらす
物語性があるサービス



たとえば ▶ 地域や社会の活性化に貢献し、
市場の成長や
雇用を生み出すサービス



応募のメリット

自組織内のメリット

内閣総理大臣賞をはじめとする各賞の荣誉

内閣総理大臣賞、各大臣賞など、
国内最高位の荣誉をうけるチャンスです。

従業員の士気や満足度の向上

自分たちの提供するサービスが表彰されることで、
従業員のやる気の向上や自信につながります。

提供サービスへの新たな「気づき」

本賞への応募を通じて、自身の提供サービスを改めて
整理でき、新たな「気づき」を得る機会となります。

対外的なメリット

優れたサービスとしての PR 効果

表彰結果は大々的に発表されます。
受賞の実績は対外的な PR につながります。

提供するサービスの信用力の向上

有識者による厳格な審査を経て表彰されることで、
提供サービスの信用がさらに高まります。

ビジネスチャンス創出、事業拡大

受賞はあなたのサービスが注目を受ける絶好の機会です。
ビジネスチャンスの創出にもつながります。

内閣総理大臣賞

クルーズトレイン「ななつ星 in 九州」

九州旅客鉄道株式会社

福岡県 〇〇〇

九州各地で運行する「Design & Story 列車」の集大成と位置づける「ななつ星」。豪華列車というハード面だけに留まらず、鉄道を輸送事業から感動を呼ぶサービス事業へ大きく転換させた革新的なサービス。今や九州を代表するシンボリックな列車となり、地域の誇りとして愛されている。

旅の計画時から「旅の楽しみ」を極め、世界一のおもてなしを目指すクルーのサービスと沿線住民の歓迎が一体となって、今までに経験したことのない感動のサービスをつくりとどけている。



Photo : Hirokazu Fukushima (frap Inc.)

地方創生大臣賞

動物の本能を魅せる「行動展示」

旭川市旭山動物園



北海道 〇〇

家づくりを物語に「工房信州の家」

株式会社フォレスト
コーポレーション

長野県 〇〇

在宅医療により地域を再生する
へき地医療サービス

医療法人ゆうの森



愛媛県 〇〇

総務大臣賞

"恵寿式"地域包括ヘルスケアサービス

社会医療法人財団董仙会
恵寿総合病院

石川県 〇〇〇

厚生労働大臣賞

「ポピンズナニーサービス」

株式会社ポピンズ



東京都 〇〇〇

農林水産大臣賞

社会貢献型移動スーパー「とくし丸」

株式会社とくし丸



徳島県 〇

経済産業大臣賞

子どもたちに食文化を伝える
「考食師」による給食サービス

株式会社ミールケア



長野県 〇〇〇

国土交通大臣賞

「国際クール宅急便」

ヤマト運輸株式会社



東京都 〇〇〇

地域、規模、業種に関わらず、さまざまなサービスが受賞しました。

➡ 各受賞サービスの詳細はホームページでご覧になれます。 <http://service-award.jp>

優秀賞

人間尊重の医療サービス

医療法人財団献心会
川越胃腸病院



埼玉県 3人

プレミアム時短献立キット 「Kit O i s i x (きっとおいしくす)」

オイシックス株式会社



東京都 3人

宅配クリーニング「リアクア」

株式会社喜久屋



東京都 3人

こどもの職業・社会体験施設「キッザニア」

KCJ GROUP
株式会社



東京都 3人

セブン-イレブンのお届けサービス 「セブンミール」

株式会社
セブン-イレブン・
ジャパン



東京都 3人

価値向上し続ける おもてなしの航空輸送サービス

全日本空輸株式会社



東京都 3人

企業向け安全運転支援サービス 「スマイリングロード」

損害保険ジャパン
日本興亜株式会社



東京都 3人

女性の体と心のサポートサービス 「カラダのキモチ」

ドコモ・ヘルスケア
株式会社



東京都 3人

訪問型病児保育サービス

特定非営利活動法人
フローレンス



東京都 3人

「3ない」で進化した店舗サービス

株式会社りそな
ホールディングス



東京都 3人

クラウドファンディングサービス 「READYFOR」

READYFOR株式会社



東京都 3人

1日農業者体験サービス 「青空フィットネスクラブ」

おうみ富士
農業協同組合



滋賀県 3人

「ハッピーケアメンテサービス」

株式会社ハッピー



京都府 3人

働く人を応援する置き菓子サービス 「オフィスグリコ」

江崎グリコ株式会社



大阪府 3人

日本の素晴らしさを伝える 「道頓堀ホテル」

株式会社王宮



大阪府 3人

日常の感動のLohasサービス

株式会社
スーパーホテル



大阪府 3人

利用者満足を追求する保育事業 ～相手の立場に立てるかの追求～

株式会社アイグラン



広島県 3人

従業員規模

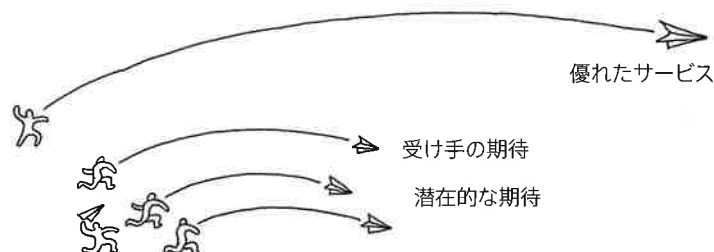
- 3人 50名未満
- 3人 51～300名
- 3人 301名以上

審査基準

「優れたサービスをつくりとどけるしくみ」を以下の基準により定量的・定性的な側面から審査します。
審査は、サービス企業の経営者、学識経験者等の有識者で構成された審査委員会によって行われます。

1. 受け手の期待に対する達成度

「優れたサービス」の特徴である、受け手が同種の一般的なサービスに対して持つ期待を、大きく超える経験価値を提供し、成果をもたらしていること。あるいは、今までにない、新しい経験価値を提供し、成果をもたらしていること。



2. サービスをつくりとどけるしくみ

構造	業務分担・業務マニュアル、ICTの利活用、人財の雇用・活用と評価制度、 経済的継続性(収益性)を担保する事業モデル、優れたサービスを目指す企業理念、等
自己革新 プロセス	変化に応じて構造をつくりかえる持続性と自己革新性、顧客と一体となった 経験価値の創造を可能にする場づくり、現場での自律的な判断と行動、等
波及効果	サービスがもたらす地域経済の活性化、雇用の創出、社会課題の解決、等

3. サービス産業の発展への寄与

他の事業者が参考にし、新たに自社のサービス向上に繋げるなど、サービス産業界に広く応用・展開できるサービス。きらりと光る尖った特徴を持つ革新性・独創性のあるサービス、等

委員長メッセージ

「サービスの創意工夫をしくみとして波及させる総合のプロセスに」

第1回の募集では、サービスの提供者と受け手が一期一会の場で共感・共鳴・共振し、期待以上の経験価値を共に創り出す様々な物語を見ることができました。その物語は、サービス提供者の「優れたサービスをつくりとどけたい」という熱い思いや信念に裏打ちされていました。その本質は、その思いの共有によるコミュニティへの波及と、日本的なアナログとデジタルの総合による人間中心のイノベーションであったと思います。第2回となる今回も“きらり”と光るサービスを数多く発掘し、国内外に広く発信して参りたいと思います。



野中 郁次郎
(一橋大学 名誉教授)

応募対象者

「優れたサービスを提供している全ての事業者が対象です」

中小企業も、大企業も。

事業・従業員規模の大小は問いません。

BtoBも、BtoCも。

きらりと光るサービスに
対象の違いはありません。

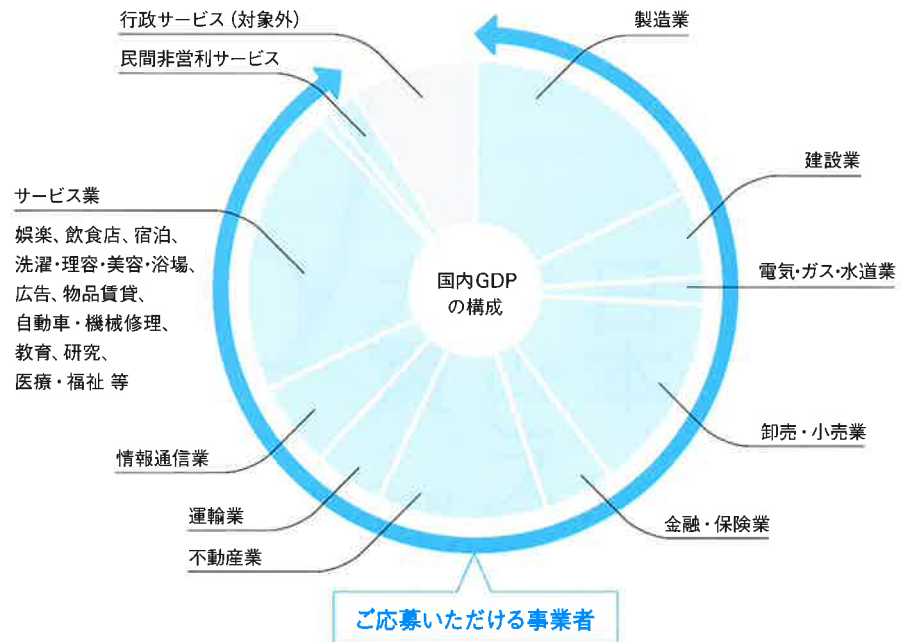
事業の営利、非営利も。

企業・団体・NPO等の
法人格は問いません。

製造業のサービスも。

業種は問いません。(行政サービスは除く)

すべての業種からご応募いただけます。



※商品や技術そのものの機能や品質ではなく、それらを取り巻くサービスが対象となります。
※その他、詳細な応募資格はホームページの応募要領をご覧ください。

スケジュール

2017年 5月10日(水)

応募フォーマット公開

2017年 6月1日(木)～8月31日(木)

15時必着

応募受付期間

2017年 9月～2018年 3月

審査期間

2018年 春

発表・表彰

応募方法について

応募にあたっては、所定の応募書類を作成していただく必要があります。日本サービス大賞のホームページから指定の様式をダウンロードし必要事項をご記入の上、登録フォームよりご応募ください。

なお、応募に際して、手数料等はかかりません。

➡ 応募要領の詳細は、ホームページをご覧ください。

<http://service-award.jp>

日本サービス大賞シンボルマーク



日本サービス大賞のシンボルマークは、関係のダイナミズムを表現しています。人と人、人とのものを創造的に結びつけていく、しなやかで強靱なサービスの運動性を象徴するかたちです。ものや技術を融合させ、それを新たな価値へと飛躍させていく思考やストーリーを内包するものとしてご覧ください。

グラフィックデザイナー 原 研哉

主催団体について



公益財団法人 日本生産性本部（会長 茂木友三郎 キッコーマン（株）取締役名誉会長 取締役会議長）

経営者、労働者、学識経験者の三者構成にて、生産性運動を展開する中立な組織です。産業人の育成や経営コンサルティング、「日本アカデミア」などの活動を通じて、生産性向上に取り組んでいます。



サービス産業生産性協議会

2006年の安倍政権の経済成長戦略にて「サービス産業のイノベーションと生産性向上」を目指して発足が決定し、翌年、産学官が取り組む共通のプラットフォームとして公益財団法人日本生産性本部内に設立。様々な業種の企業・団体による会員構成で活動し、サービス産業のダイナミックな成長を支援します。

事務局 | お問い合わせ |

公益財団法人 日本生産性本部
サービス産業生産性協議会「日本サービス大賞」事務局

<http://service-award.jp>

E-mail: service-award@jpc-net.jp

東京都渋谷区渋谷 3-1-1

TEL: 03-3409-1189 FAX: 03-3409-1187

日本サービス大賞

検索



「日本サービス大賞」を検索ください。

日本サービス大賞 Facebook ページ

<https://www.facebook.com/ServiceAwardJP>

日本サービス大賞 Twitter アカウント

[@ServiceAwardJP](https://twitter.com/ServiceAwardJP)